

第 36 回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2019 年 9 月 22 日（日） 10:45～11:45

於：徳島大学地域連携プラザ地域連携大ホール

■定足数確認

歴史地震研究会会則第 18 条により、総会は会員の 10 分の 1 の実出席を要すると定められている。現在の会員数 266 名、本会場内にいる会員数は 58 名、委任状提出 4 名で定足数を満たし、総会は成立する。（大邑潤三総務委員長）

■松浦律子会長挨拶

■議長選出

大邑潤三総務委員長より佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され、ここからは議長が進行を務める。

■佐竹議長挨拶

第一号議案 2018 年度事業報告および決算報告

1. 2018 年度事業報告

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 35 回歴史地震研究会（大分大会）の開催について（松崎伸一前行事委員）

総会資料第一号議案 1.(1)①により説明。

②他の学協会が主催する行事の共催・後援等について（大邑潤三総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)②により説明。

③第 36 回歴史地震研究会（徳島大会）の開催準備について（馬場俊孝行事委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)③により説明。

(2) 会誌の刊行について（行谷佑一編集出版委員長）

『歴史地震』第 34 号を 2018 年 7 月末に発行したことについて総会資料第一号議案 1.(2)により説明。

(3) 広報活動について（加納広報委員長）

総会資料第一号議案 1.(3)により以下の事項について説明した。

①新たに Flash を用いないホームページを立ち上げ、33 号の PDF、議事録、大会案内、その他行事のお知らせなどを掲載した

②研究会に関する外部への窓口として、問い合わせフォームを作成

③大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて各種団体へ告知

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰について（大邑潤三総務委員長）

石橋克彦会員に功績賞を授与することを幹事会で決定し 2019 年 9 月 22 日の総会で授与したことを総会資料第一号議案 1.(4)により説明。

(5)その他（大邑潤三総務委員長）

研究会の各事業を行うために付随する活動として、大会中の総会1回と幹事会5回を行ったことを総会資料第一号議案1.(5)により説明。

2. 2018年度決算報告

(1)2018年度決算報告について（諸井孝文財政委員長）

総会資料第一号議案2および説明資料の2018年度会計監査報告書および会員の現況及び会費受取状況により、2018年度の収入と支出、大分大会の収入と支出を報告。

歴史地震研究会 2018年度 決算報告

項目	予算額	決算額	増減	内訳	
収入	2018年度会費	1,240,000	856,000	▲ 384,000	4000円×214名
	2017年度以前会費	0	12,000	12,000	4000円×3名
	2019年度会費	0	76,000	76,000	4000円×19名
	2020年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌口絵代	46,000	46,000	0	23000円×2ページ
	会誌・講演要旨バックナンバー代	0	28,850	28,850	会誌16部、講演要旨4部
	大分大会剰余金	0	160,619	160,619	
	前年度繰越	1,877,136	1,877,136	0	
	合計	3,163,136	3,060,605	▲ 102,531	

支出	2018年度大分大会関係費	30,000	0	▲ 30,000	剰余金のみ
	2019年度大会費	100,000	0	▲ 100,000	
	2020年度大会費	30,000	0	▲ 30,000	
	歴史地震34号印刷・発送代	675,000	604,776	▲ 70,224	410部、振込料648円込
	同編集費	25,000	0	▲ 25,000	
	HP管理費	60,000	21,267	▲ 38,733	振込料216円込
	会議費	300,000	79,120	▲ 220,880	
	功績賞関連費	100,000	105,596	5,596	振込料216円込
	歴史地震アーカイブ費	50,000	0	▲ 50,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	21,347	▲ 8,653	
	合計	1,400,000	832,106	▲ 567,894	

次年度繰越金	1,763,136	2,228,499	465,363	
--------	-----------	-----------	---------	--

2018年大分大会収支報告

項目	金額	内訳	
収入	参加費(会員)	142,000	2000円×71名
	同上(非会員)	72,000	4000円×16名+2000円×4名
	懇親会会費(一般)	275,000	5000円×55名
	同上(学生)	10,000	2500円×4名
	巡検参加費	195,000	5000円×39名
	合計	694,000	

支出	大会会場費 ^{注1)}	27,630	設備利用料
	予稿集印刷費	70,416	120部、消費税5184円・振込手数料432円込
	懇親会費	228,000	4000円×57名、消費税込
	巡検代金	192,397	交通費・昼食代・保険料・拝観料・巡検講師謝金
	文具代	9,031	レールファイル・VGAケーブル他
	雑費	5,907	宅配便代
合計	533,381		

収支差額	160,619	剰余金
------	---------	-----

注1)大会会場費はこの他に2016年度分(80208円)と2017年度分(16812円)の合計97020円が支出済

(2)会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2018年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した。

〈第一号議案について質疑〉

Q 会員特典停止とは除名ということか？

A 会則が曖昧なので会則の改定を今回予定している。1年の滞納で除名は厳しいので、特典を払うまで停止という扱いになっている。停止中の人には会誌も送っていない。

Q 会員数には停止中の人も入っているのか

A ここで報告した会員数には、停止中の人が入っていない。特典を持った人を会員とみなしている

（議長）第一号議案 2018年度事業計画および決算報告を承認してよいか。

第一号議案 2018年度事業計画および決算報告を拍手で承認。

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第16条第1,2項に基づき、幹事会の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。（大邑潤三総務委員長）

（議長）立候補した松浦律子氏を次期会長として選出してよいか。

拍手で承認。松浦律子氏を会長に選出。

第三号議案 監査役選出

監査役の定数は2名。歴史地震研究会会則第16条第4項に基づき、幹事会として現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。（大邑潤三総務委員長）

（議長）推薦があった中村操氏と植竹富一氏を監査役として選出してよいか。

拍手で承認。中村操氏と植竹富一氏を監査役に選出。

■新会長挨拶と役員指名

次期の松浦律子会長より挨拶。2019年度の役員は、副会長に堀川晴央氏（留任）、幹事は総務委員長に大邑潤三氏（留任）、財政委員長に諸井孝文氏（留任）、広報委員長に加納靖之氏（留任）、行事委員長に盆野行輝氏（新任）、編集出版委員長に行谷佑一氏（留任）を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶。

四号議案 会則の改正

会則には会費の長期滞納者への対応などが明記されておらず、こうした会員も会員名簿から削除できない状態が続いていた。また退会のあり方や昨今の会員状況もかんがみ退会制度の見直しや、休会制度を新たに設けたい旨、総会資料第四号議案により説明。(大邑潤三総務委員長)

〈第四号議案について質疑〉

Q 休会制度のメリットは

A 名簿に名前が残る。休会中の会員という扱いであり会員と名乗ることができる

Q 会費滞納で除名になったとき復会したい場合はどうするのか

A 滞納分を全納し幹事会で認められれば復会できる

- ・文章表現の統一が必要
- ・11条の「第9条に従わず」は不要ではないか
- ・連絡のつかない除名者に会費の全納は不可能ではないか
- ・休会や復会届にも所定の書式は必要ないのか
- ・休会届に復会時期の見通しも明記すべきではないか
- ・休会したままフェードアウトする例も発生するのではないか

→幹事会で再度検討の上改定したい

(議長) 第四号議案 会則の改正については出席者の3分の2以上の承認が必要である。

細かい修正点などは幹事会に一任するとして、会則改正の趣旨を承認してよいか。

第四号議案 会則の改正を拍手によって3分の2以上とみなし承認。

第五議案 2019年度事業計画および予算案

1. 2019年度事業計画案

(1) 研究成果発表会および講演会

- ①現在 2019年第36回徳島大会を開催中である。(大邑潤三総務委員長)
- ②2020年第37回大会を伊賀上野市で開催するため準備を行う。(盆野行輝新行事委員長)
- ③2021年の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。(大邑潤三総務委員長)

(2) 会誌の刊行 (行谷祐一編集出版委員長)

会誌『歴史地震』第35号を2020年7月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて、総会資料第五号議案1.(2)により説明

(3)広報活動（加納靖之広報委員長）

ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行う旨、総会資料第五号議案 1.(3)により説明。

(4)歴史地震研究に関する業績の表彰（大邑潤三総務委員長）

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨、総会資料第五号議案 1.(4)により説明。

(5)その他（大邑潤三総務委員長）

会の運営のため総会および年間 5 回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第五号議案 1.(5)により説明。

2. 2019 年度予算案（諸井孝文財政委員長）

総会資料第五号議案 2 歴史地震研究会 2019 年度予算案により 2019 年度予算について説明。

〈第五号議案について質疑〉

なし

（議長）第五号議案 2019 年度事業計画および予算案 を承認してよいか。

第五号議案 2019 年度事業計画および予算案 を拍手で承認。

■議長解任

■閉会